

今昔物語

その52

鮎田樋門

鮎田地区



今回は昭和32年3月に建設された、鮎田樋門の写真をご紹介いたします。紀宝町誌によると熊野川からの逆流防止のために建設されたもので、当時は牛鼻神社より上流にありました。

鮎田地区の東口区長と、水門操作員の西地さんにお話を伺うと、樋門の上流にはジェット船の乗り場や船の修理場があったそうです。撮影当時はありませんが、樋門の建設後、牛鼻神社の下流側には「并慶旅館」という温泉付きの宿泊施設が建ち、観光客などが利用していたそうです。また、当時の樋門の下流は浅瀬で、潮干狩りをして楽しんでいたということでした。

全体の老朽化や、通水能力の不足などから昭和63年から改築工事が始められ、平成8年3月に現在の鮎田水門が完成しました。

— 昔の風景写真を募集します —

広報さほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているもの限り、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

わんぱくしゃ

今回は200号！

広報さほうの表紙の右上には小さく広報さほうの号数を載せているのですが、平成18年1月に紀宝町が誕生し、2月に第1号が出てから16年以上経ち、ついに広報さほうが199号を迎えました。

僕が広報の担当になったのが、112号からで、その時は、まさか200号を自分が担当することになるとは夢には思わず、一年間担当を離れましたが、通算80号ほどの広報を担当したかと思うと、あっといふ間と思う反面、長い間広報に携わらせていただいたなあと感じます。

今回は200号記念ということで、せっかくなので何か広報さほうに関する特集企画ができないか考えていますので、次回をお楽しみに♪

（ひとりごこのネタが尽きてきた 愛野裕基）

料理にチャレンジ中

6月末には栄養教室「さほう食の会」が久しぶりに開催され、今月のお料理のコーナーの写真はその時に撮影させていただいたものです。サラダのほかにも、3品ほど作っていて、会場にはとてもおいしそう匂いが漂い、思わずお腹がなっていました。

私も料理上手になりたくて、休みの日にチャレンジしてはいるものの、そう簡単に見た目も味も完ペキに作れるはずもなく…。しかし、作ったときは、必ず写真を撮って、「おいしそう〜」と半強制的に褒め言葉を求めるのがお決まりです。練習あるのみだと思っただけ、これからもめげずに挑戦し、完ペキな料理が作れたあかつきには、「この場で」報告しますので、お褒めの言葉をよろしく願います♡（笑）。

（得意料理は材料を入れるだけの鍋 大森菜央）

